

自動固相抽出装置

購入仕様書

令和7年度

南房総広域水道企業団

第1章 総則

1. 目的

本仕様書は、水質基準項目に定められているフェノール類の検査において、試料の前処理工程で使用する自動固相抽出装置の購入に関し必要な仕様を定めるものである。

2. 物品の名称及び数量

自動固相抽出装置 1 台

3. 納入設置場所

千葉県夷隅郡大多喜町小谷松500番地 大多喜浄水場

大多喜浄水場 薬品注入棟2階 有機溶媒試験室

4. 納期

契約日の翌日から令和8年3月19日まで

5. 納品及び検収

本仕様書に示された物品を指定する場所に据付し、性能等について発注者立会のもと検収検査を受け、その合格をもって納品完了とする。

6 物品の据付作業等

- (1) 円滑な搬入、据付が行えるよう、必要に応じて事前に現場確認を行うこと。
- (2) 搬入、据付等の作業日程については、発注者と事前に打ち合わせを行い、その指示によること。
- (3) 操作性やメンテナンス性を考慮して据付を行い、正常に動作するよう十分な調整を行うこと。

7 物品の取扱い説明

据付調整後、物品の操作及び日常の保守点検を行うのに必要十分な知識及び技術を習得するための説明を行うこと。

8 納品後の保証及び保守

- (1) 物品の無償保証期間は、検収後1年とする。この期間内に通常の使用条件で発生した故障、破損、性能低下及びその他の欠損事故については、受注者の責任において無償で速やかに点検、調整、取替えもしくは復旧修理等の必要な措置を講ずること。

なお、無償保証期間以降についても、設置当初からの機器の不具合に起因するものについては無償で対応すること。

(2) 故障等発生時における連絡先を届け出るとともに、復旧措置等が迅速に行える体制を整えておくこと。

(3) 技術的相談に速やかに対応される体制を整えておくこと。

9 その他

(1) 作業にあたっては、発注者の指示に従うこと。

(2) 正常に使用できるようになるまでの一切の費用を含むものであること。

(3) 搬入、据付等の作業に際して、建物、設備、別装置等へ損傷を与えた場合は、受注者の負担において原状に復すること。

(4) 搬入、据付等の作業に際して発生した不用品は、受注者が片付け、処分すること。

なお、廃棄にあたっては関係法令に基づき適正に処理すること。

(5) 搬入、据付等の作業にあたっては、安全衛生管理に万全を期すこと。

なお、発生した事故等については、発注者はその責任を負わない。

(6) その他、本仕様書に定めのない事項で疑義が生じたときは、発注者と協議し、その指示によること。

第2章 物品の仕様

物品の仕様については、別紙のとおりとする。

別紙

名 称	自動固相抽出装置	数量 1 台
納入場所	大多喜浄水場 薬品注入棟 2 階 有機溶媒試験室	
仕 様	<p>1. 機器が有すべき性能</p> <p>水質基準に関する省令の規定に基づき環境大臣が定める方法(平成 15 年 7 月 22 日厚生労働省告示第 261 号(最新の改正を適用する))別表第 28 や別表第 29 の前処理に示されている固相抽出操作が自動で行える装置で、以下の仕様を満たす新品で製造が継続されているもの。</p> <p>(1) 本体</p> <p>ア 基本性能</p> <p>固相抽出カラム(以下、「カラム」)のコンディショニング、カラムへの試料通水、カラムの洗浄、カラムの乾燥、検査対象物のカラムからの溶出(バックフラッシュ操作は除く)、溶出液の濃縮までの行程が自動で行えること。</p> <p>イ 検体処理数</p> <p>1 回の操作で 6 検体以上を同時処理できること。</p> <p>ウ 試料の送液方法と送液速度</p> <p>送液方法はシリンジポンプとする。また、送液速度は 1～100ml/min の範囲で設定可能であり、1ml/min 単位で可変できること。</p> <p>エ 試料通水量</p> <p>10～2000ml の範囲を 10ml 単位で設定できること。</p> <p>オ 使用可能なカラムの種類</p> <p>シリンジバレル型(6ml)、ルアーデバイス型の使用が可能であること。</p> <p>カ カラムの乾燥方法</p> <p>窒素ガス通気+吸引による方式が可能であること。</p> <p>キ 溶出液の濃縮方法</p> <p>加温+窒素ガス吹き付けによる方式が可能であること。</p> <p>ク 使用溶媒</p> <p>(ア) 5 種以上の溶媒をセット可能であること。</p> <p>(イ) 溶媒の種類として、水、ジクロロメタン、酢酸エチル、アセトン、メタノール、トルエンが使用可能であること。</p> <p>(ウ) 試料ラインはアセトンによる洗浄が可能であること。</p>	

ケ 廃液

溶媒系廃液と水系廃液を分別して排出できること。

コ 設置スペース

幅 70 cm、奥行 75 cm、高さ 90 cm以内に設置できること。

サ 電源容量

AC100V、15A 以下で使用できること。

シ その他

装置を設置する場所は、ドラフトチャンバー外であることから、カラムコンディショニングや溶出などの運転に伴って揮発する溶媒（気体）の拡散が防止できる構造で、ダクトホース等を通してドラフト内に排気できる機能（排気ファン）を有していること。

(2) 付属品

ア 排気用ダクトホース

装置からドラフトチャンバーまで(概ね 5m)の排気ダクトホースを付属すること。

イ 窒素ガス配管

取り出し口から装置まで(概ね 5m)の窒素ガス配管を付属すること。

ウ 濃縮管 20 本

納入しようとする自動固相抽出装置に適するもので、1.0ml に校正された目盛が付され、透明で全量が 6ml 以上あるもの。

エ 取扱説明書 1 式

2. 参考機種

本仕様書の条件を満たしている参考機種は下記のとおりであるが、同等以上の機能を有し、上記の仕様を満たすもので、発注者の承諾を得た上であれば他機種でも差し支えない。

記

◆ジーエルサイエンス(株) アクアトレース ASPE899

(以下、余白)

